

基調講演



島田療育センターはちおうじ 所長

医師 小沢 浩さん

不登校でひきこもりの 子どもたちの特性と関わり方 ～家族・関係者への支援と連携について～



小沢医師は、『輪を和でつなぐ』という理念のもと、真ん中にいる子ども・家族をみんなで支え合い「笑顔の輪」で社会全体を包み込む…そんな想いで、昭和36年に日本で最初に創立された重症心身障害児施設 島田療育センターはちおうじの所長として活躍されています。

また、八王子不登校児支援ネットワーク プラス・パスを2021年に立ち上げ、不登校児当事者、ご家族など悩みを抱えているたくさんの方々に対して、課題解決すべく支援者・不登校児・ご家族をつなげ、地域に仲間を増やし、居場所を増やしていく活動を展開されています。

島田療育センターはちおうじ所長、八王子不登校児支援ネットワーク プラス・パス代表、日本小児科学会専門医、日本小児神経学会専門医・評議員、日本重症心身障害学会評議員などを歴任。

パネルトーク

不登校・発達障害からひきこもりを考える

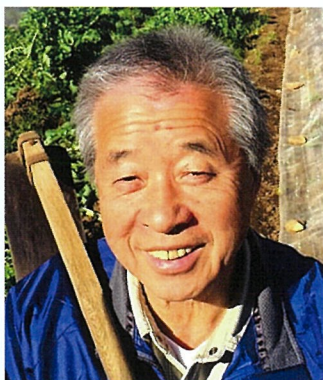
～コロナ禍をふまえた地域における生きにくさの実相と支援について～



NPO法人全国不登校新聞社 代表理事
いしい

石井 しこうさん

1982年東京都生まれ。中学受験を機に学校生活が合わなくなり中2から不登校、フリースクール「東京シューレ」入会。19歳から『不登校新聞』のスタッフとなり編集長を経て2020年より代表理事。不登校の子どもや親など当事者への取材は400名以上。女優・樹木希林氏や社会学者・小熊英二氏など識者への取材、メディア出演や著書も多数。



相澤農園代表
あいざわ こういち

相澤 孝一さん

多摩村の農家に生まれる。中2時に島田療育園の食堂で奉仕活動、後の調理師免許取得につながる。高卒後高速道路会社で定年まで働く。働きながら夜間大学卒業、教員免許取得。定年後は農業従事、5年前よりひきこもりや不登校の人たちを農園に受け入れ始める。地元小学校で農業授業も受け持ち、畑を通じた食とのつながりを伝えている。



葛飾区くらしのまると相談課 支援係長
たかぎ ちえこ

高城 千栄子さん

保育園、障害福祉課、高齢者支援課など葛飾区のあらゆる福祉行政に携わり、行政の立場から包括的に福祉を支えている。R5年度開設の「くらしのまると相談課」であらゆる年齢層や障害のある方々等の支援に従事。「40年という長い区役所人生で、多様な部署でたくさんの仲間ができたことを感謝しています」

<職員募集のご案内>

社会福祉法人武蔵野会ではふくしに関わる仲間を募集しています。東京都を中心に伊豆大島・静岡県御殿場市を含め27拠点施設を運営しています。福祉のお仕事に興味のある方は、お気軽に仲間探し(採用)担当までご相談ください。

【ご応募・お問合せ】

TEL: 042-631-6341

MAIL: recruit@musashinokai.jp

公式LINEからもご応募いただけます→



社会福祉法人武蔵野会

